

[抄録様式]

財団法人8020推進財団 令和3年度 歯科保健活動助成交付事業報告書抄録	
1. 事業名：	フッ化物応用普及啓発事業
2. 申請者名：	新潟県歯科医師会
3. 実施組織：	特定非営利活動法人 は一もにープロジェクト
4. 事業の概要：	<p>2021年10月9日、第42回むし歯予防全国大会 in 新潟がWebおよびオンラインによる同時配信で開催された。273人もの事前申し込みがあり当日は216人の方が視聴された。</p> <p>第一部：フッ化物洗口50周年記念式典と記念講演、第二部：大会基調講演、第三部：パネルディスカッションを実施した。また、当日弥彦宣言が示された。</p>
5. 事業の内容：	<p>2021年10月9日、第42回むし歯予防全国大会 in 新潟がWebおよびオンラインによる同時配信で開催された。273人もの事前申し込みがあり当日は216人の方が視聴された。</p> <p>1970年新潟県西蒲原郡弥彦村立弥彦小学校で全国初となるフッ化物洗口が開始し、2020年に50周年を迎えた。その間、関係者のご努力により、新潟県は日本一子供のむし歯が少ない県に位置づけられるようになった。</p> <p>当日、花角新潟県知事、および小林弥彦村長よりご祝辞をいただいた。第一部としてフッ化物洗口50周年記念式典と記念講演を、第二部として大会基調講演「フッ化物洗口50年の成果と新潟県における歯科保健活動の軌跡」を、第三部としてパネルディスカッション「30年後のあるべき姿と今後の取り組みの方向性」を実施した。また、当日、弥彦宣言が示された。</p>
6. 実施後の評価（今後の課題）：	<p>大会を通じ、少子高齢化がかなりの速度で進む中で今後の歯科保健活動の行うべき方向は大きく2つの活動に集約されて行くと考えられた。1つは公衆衛生のさらなる促進。そこにはフロリデーションも含まれると思う。もう1つは小規模多機能的集団の活動促進である。行政はおそらくそのいずれに対しても対応していく必要が生じてきて、かなりのスキルを持った人材が求められてくると考えられる。</p> <p>また当日弥彦宣言（以下）が示された。</p> <p>「弥彦小学校で開始したフッ化物洗口の50年間の成果およびその影響を鑑み、今後、成果の継続、およびフロリデーション（水道水フッ化物濃度調整）の実施に向けた取り組みも含めた新たな展開も視野に入れ、お口の健康から健康長寿を目指していくことを宣言する。」</p>